

2024年9月12日

東京都港区六本木六丁目8番10号
会社名 株式会社モブキャストホールディングス
代表者名 代表取締役CEO 藪 考 樹
(コード番号：3664 東証グロース)
問合せ先 取締役グループ管理本部長 眞田 和 昭
(TEL.03 - 5414 - 6830)

2024年12月期第2四半期決算説明資料に対する質疑応答について

当社が公表しました2024年12月期第2四半期決算説明資料について受け取りましたご質問事項への当社の回答を、投資家の皆様にお知らせいたします。

Q1	NINJIN は、不定期に競馬関係の動画を Youtube に出しているだけで、大した事業はしていないようですが、ちゃんとした事業計画があるのですか。
A1	決算説明資料 P.9「株主会社クラウドホースファーム社の吸収合併」上で 2024 年 4 月 1 日付適時開示「連結子会社の合併に関するお知らせ」について書かせていただきましたとおり、デジタル IP 事業の成長戦略である「デジタル分野でのリストラクチャリングを完了させ、自社 IP 創出へのチャレンジの推進」の第一歩として、旧 X-VERSE 社がクラウドホースファームを吸収合併いたしました。合併後は、「NINJIN 株式会社」と商号変更してグループ IP 創出の加速化を図ってまいります。その中で新たな事業計画等につきましては、お知らせできるタイミングがきましたら決算説明資料、適時開示等でお知らせしてまいります。
Q2	クリエイターとの共創と言っていますが、要は今までの継続というだけで、何の目新しい事項もないようですが、事業の収益改善、事業の拡大とかは考えているのですか。また、株主総会で説明された 10 年後 20 年度も維持できるような独自 IP とは、クラウドホースファームが行っていた馬のことだったのですか。将来性はないように思えますが。
A2	当社グループは 20 年間にわたりクリエイターと共に① IP を創出し、②事業を拡大し、③グループ間シナジーを生み出し、④事業拡大となりうる更なる戦略パートナーを株式譲渡により仲間化するという4つのステップを踏まえた「クリエイター共創経営」を推進してまいりました。そして、当事業年度から IP 投資育成事業において当社が保有する「米国法人エンハンス」株式の一部を譲渡しました様に、関係会社の株式の一部を戦略的パートナーへ譲渡することにより収益化を開始しております。 また、旧 X-VERSE 社が、株式会社クラウドホースファームを吸収合併し商号を「NINJIN 株式会社」に変更したことにつきましては、NINJIN 社が、「馬と人が共存できる日本を作る」というビジョンを掲げ、競走馬のセカンドキャリアが生まれにくい日本において、NINJIN 社が生み出すエンターテインメントを通じ、馬と人が共存できる未来の実現を目指してまいります。将来性のある事業であると見込んでおります。

Q3	グループ売上 200 億以上、営業利益 10 億以上の目標はどうなったのですか。
A3	2024 年 8 月 14 日付決算短信等で既にお知らせしておりますとおり、当事業年度から、IP 投資育成事業に関する今後の業績見通しにつきましては、株主・投資家の方々への誤解を招かないためにも、今後合理的に算出が可能になった時点で速やかに開示し、それまでの間は非開示とさせていただきます。当社グループ及び各事業の戦略を着実に実行していく所存でございます。

Q4	継続的な黒字化体制を構築するためには、エンタメ事業や投資事業のような浮き沈みが大いなものではなく、もっと堅実な事業をすべきではないのですか。なぜ失敗続きのエンタメに固執するのですか。
A4	①一つの分野を深く追求し、その分野に精通している②強い影響力を持ち、他社に深くインスパイアを与える③常に進化し続け、新しいアイデアやコンテンツを生み出すという 3 つの条件を兼ね備えたクリエイターと共に、「クリエイター共創経営」を進めていくことは当社グループの強みであると認識しております。

Q5	株主還元はあるのですか？
A5	当社グループは、従来から株主に対する利益還元策を重要な経営課題の一つであると認識しており、企業体質の強化と将来の事業展開のために内部留保を確保しつつ、配当を実施していくことを基本方針と考えております。そして、各事業の戦略を着実に実行することが企業価値を高めることと考え、その結果として株主様への還元もできる様、しっかりと努めてまいります。

Q6	ホームページでの情報公開がずいぶん減っているようで、一体、何をやっているのかが全くわからないのですが、もっと情報発信をすべきではないですか。
A6	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。ご指摘いただいたことを機会に、今一度株主様や投資家様のニーズを十分に満たすべく、常に改善を目指してまいります。

Q7	株価は低迷しているようですが、何か対策は考えていますか？決算説明資料 P7.の資料によると、米国法人エンハンス社の株式 201,067 株を売却して約 2.5 億円とありますから、残り 1,789,933 株の価値は 22.1 億円。御社の時価総額が、株価 50 円で 22.3 億円ですから、同社の株式が欲しい会社を買収される危険があるのではないですか。
A7	株価が低迷していることにつきまして、ご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。当社としましても、株価の向上を実現させることが喫緊の課題と捉えており、そのためには、安定した黒字化の達成を早急に目指してまいります。

Q8	ガバナンスの強化を目的としていますが、株主の利益は考えているのですか。社外取締役は株主視点で、経営に参加しているのですか。株主は損失ばかり負っている状況ですが、今の経営陣では、会社の成長は見込めず、社外から優秀な経営者をスカウトすることも考えるべきではないですか。
A8	ご指摘いただいた内容につきましては、今後の経営戦略やガバナンスの強化においても重要な要素として認識し、株主様からのご期待に応えられる様、努めてまいります。

以 上